

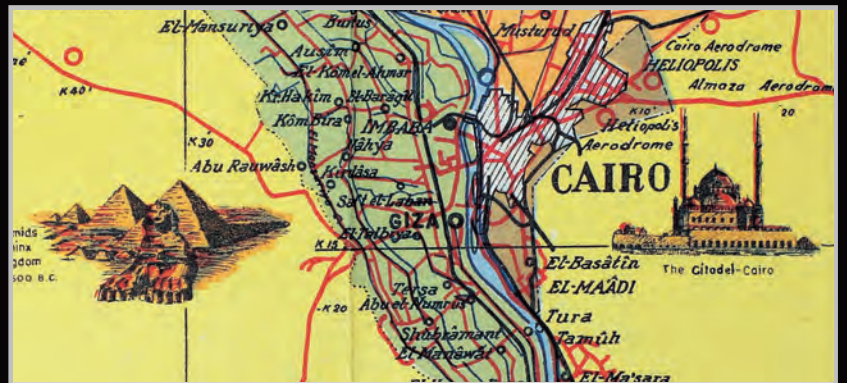
89th Feature Exhibition  
*Popular Culture of Modern Egypt in Cairo: Time Capsule from 1959*



第89回企画展

# エジプト・カイロの 大衆文化

## 1959年のタイムカプセル



2022年

4/15(金) ▶ 6/6(月)

関西から  
文化力  
POWER OF  
CULTURE

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

左上：水挿し カイロ 1959年

右上：ラマダン・ランプ「ファヌース」 カイロ 1959年

左下：飲み水売る人 カイロ 1959年 田中四郎氏撮影 京都外国語大学国際文化資料館蔵

右下：エジプト地図 カイロ 1959年

【主催】天理大学附属天理参考館

【後援】天理市/天理市教育委員会/毎日新聞社/歴史街道推進協議会

【協力】JICA 関西/京都外国語大学国際文化資料館/天理大学附属天理図書館

# エジプト・カイロの大衆文化

## —1959年のタイムカプセル—

1959年1月、後にアラビア語の教授となる田中四郎氏(1921-2017)は、エジプトの地に初めて足を踏み入れ、カイロでの1年間の留学生活の合間に、当地に暮らす一般の人々が使用する、ありとあらゆる生活道具を収集し、当館にその品々がもたらされました。

本展は、63年の時を経て、選りすぐりの品々を初めて一堂に公開するものであり、1959年当時にエジプトで暮らしていた人々の日常を封じ込めた「タイムカプセル」を開くという試みでもあります。多種多様な展示品から垣間見えてくるのは、一昔前のエジプト社会の生き生きとした姿です。

アラビア語を話し、イスラームを信仰する人々の生活様式は、日本人と比べる場合、異なる部分がたくさんありますが、共通点も決して少なくありません。エキゾチックでありながら、ノスタルジックな雰囲気も漂う展示品を通じて、エジプト社会の根底にある基層文化や精神世界を感じとっていただければ幸いです。

- 【会場】 天理参考館 3階企画展示室、3階ロビー  
【開館時間】 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）  
【休館日】 4月28日、5月6日・10日・17日・24日・31日  
【入館料】 大人500円 団体400円（20名以上）  
小中高生300円（学校単位の団体は無料・事前申込が必要）  
障がい者とその介護者1名は無料  
（障がい者手帳またはミライロIDなどをご提示ください）



女性の衣装 カイロ 1959年

### ▲関連イベント▲ ※入館券が必要です。

#### ◆ 記念講演会

「タイムカプセルから紐解くエジプトの暮らし  
—イスラームとの関わりから—」  
講師：澤井 真氏（天理大学附属おやさと研究所 講師）  
日時：5月27日（金） 午後1時30分～2時30分  
会場：天理参考館 2階ホール  
定員：30名（要事前申込）

#### ◆ トーク・サンコーカン（講演会）

「タイムカプセルが伝えるもの  
—1959年のエジプト・カイロ—」  
講師：梅谷昭範（当館学芸員）  
日時：4月22日（金） 午後1時30分～2時30分  
会場：天理参考館 2階ホール  
定員：30名（要事前申込）

申込受付開始：4月4日（月）  
受付時間：平日 午前9時30分～午後3時  
申込方法：1組3名以内で次のいずれかの方法でお申込みください。  
・メール san-info@sta.tenri-u.ac.jp  
・FAX 0743-63-7721  
・受付カウンターにて直接申込み

申込記載内容：①希望する講演会の日付  
②氏名・ふりがな  
③住所  
④電話番号（FAXでお申込みの方はFAX番号も記入）  
②～④は申込者全員分をご記入ください。  
※定員に達し次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします。

新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止のため、会期やイベント内容を変更する場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属  
天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM  
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250  
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721  
URL <https://www.sankokan.jp/>



天理大学附属  
天理参考館ウェブサイト

天理参考館 🔍 検索



アクセス | JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分  
西名阪天理インターより南へ約3km  
駐車場あり・無料

※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります

次回予告

第90回企画展 「館蔵資料から見る 神仙思想と道教」

2022年7月13日（水）～9月5日（月）